

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1192500708		
法人名	株式会社メディカルライフケア		
事業所名	幸せ ふくろう北秋津		
所在地	埼玉県所沢市北秋津686-23		
自己評価作成日	令和8年2月1日	評価結果市町村受理日	令和8年2月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社シーサポート
所在地	東京都練馬区東大泉3-37-2
訪問調査日	令和8年2月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様が自立度を高めるために、ご本人様が出来行為を支援することです。例えば調理の手伝い、食器洗い食器拭き、洗濯物を畳む、個人の居室の床をクイックルワイパーで拭いて頂いております。行事では、地域のボランティアのクリスマス会、音楽会などを取り組み、利用者様の活性化に繋がる様に支援しております。

家族様とのコミュニケーションを取り組むことにより、利用者様が安心安全に生活が遅れる様に、家族様に状況報告する事を徹底して行なう。

● 介護サービスだけでなく、生活全般にわたってサポートを行い、生活の質を向上させることに取り組んでいます。

● 配膳など利用者ごとの適性にあわせて家事参加を支援し、植物への水やり・床の清掃など身近な役割をもちながら生活が営まれています。

● 自宅からテレビやダンスなど利用者それぞれの私物が持ちこまれ、プライベートな空間が確保されています。ネットワークカメラと連動した介護支援システムを導入し、自室での安全に関しても見守られています。

● 日中は皆でリビングで過ごすことが多く、テレビを見る・おしゃべりをする・レクリエーションをするなど楽しみを提供しています。また食事前には皆で口腔体操をするなど広いスペースを確保したリビングが活用されています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)＋(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	自立目標を支援することより、地域資源を活用と日常生活で出来ことに取り組んでおります。	「家族のような介護・地域密着」を謳う法人の方針にあわせて支援に取り組んでいる。既定の研修のほか、日々のケアを通じて都度指導し、周知を図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域ボランティアなどのキリスト教コーラス隊とのクリスマス会や音楽会で演奏するなどの地域の交流しております。	関係者を通じて自治会との連携を図っている。アプローチのやり方を変えながらホームの浸透と地域ニーズのマッチングに注力していく意向をもっている。	近隣の小学校・保育園等との交流実現は利用者の喜びにつながるが予想される。また災害時の協力・夏祭りの参加についても自治会を通して進めていくことを目標としている。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域と人々との認知症の理解や支援することなどの取り組んでおります。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営委員会とも利用者様のやサービスの実際的な評価への取り組んでおります。地域包括支援センターの研修会に参加しております。	行政・地域包括支援センター・自治会・家族等の方々を招待し、運営推進会議が定期で開催されている。報告を通してホームへの理解が深まるよう取り組んでいる。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者に、日頃からのケアサービスの取り組んでいる事を、お伝えしております。	行政・地域包括支援センターとは運営推進会議への招待等を通じて関係構築に努めている。近隣には法人内サービス付有料老人ホームがあり、連携をもって地域福祉への貢献がなされている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会議事録に取り組んでおります。	身体拘束廃止委員会を開催し、3種のロックの理解などに取り組んでいる。ネットワークカメラと連動した介護支援システムを導入しており、利用者の安全と職員の負担軽減を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会議事録に取り組んでおります。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者と職員で、日常生活自立支援事業や成年後見制度に付いては、学ぶ機会を持つ話し合をしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族様との契約は、問題無くなった対応しております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様の家族様との意見を反映されております。	面会の制限撤廃など家族とのコミュニケーションが図られるよう支援に取り組んでいる。家族と医療機関等関係機関との橋渡しになることを心掛け、対応に努めている。	家族との関係性の維持や支援への理解を深めてもらう有効な手段として家族会の開催を企画している。多くの参加者のもと家族同士の交流につながる会となることが期待される。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見を反映されております。	ホーム全体で毎月ミーティングを開催し、支援方法や利用者の状態の共有に努めている。テーマごとに委員会が設定されており、ホーム全体の支援を向上させる仕組みが構築されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員一人一人が勤務状況を把握しておりますので、各自で向上心を持つ動いております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員と散歩に出掛けたり。家族様と外出して散歩に行く事も有り。家族様が昼食や夕食に外出する事も有ります。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	職員とのコミュニケーションをとり組んで、職員の意見を聞き取りながら、職員との面談をして、職員一人一人にケアに付いて話し合をしています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様が不安な状況になった時は、職員が耳を傾けて、話を聞き取り対応しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族様の意見を取り組んでおります。 家族様の困っている、不安になっている事を考えて、家族様の相談しながら対応しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族様の意見を取り組んで、利用者様の必要としている支援しております。他のサービスも利用しております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、利用者様の事を考えてながら、介護をしております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様に信頼関係を取り、利用者様と家族様の絆を大切にしております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様の個性や価値を尊重して、支援しております。	植物への水やり・床の清掃など身近な役割をもちながら生活が営まれている。読書などの趣味に講じる利用者もあり、入居前の習慣等を意識した生活となるよう環境形成に取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションなど行って、利用者様同士のコミュニケーションを取り組んでおります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族様とコミュニケーションを取りながら、支援しております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様が安心安全に生活が出来る様に、対応しております。	コミュニケーションが難しい利用者に対しても多様なアプローチ方法により意思を引き出している。アセスメントの確認・職員の丁寧な介助により安心・安全な生活に導いている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様の生活歴や暮らし方を把握しており、サービス利用に活用しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の日常生活の行動を記録しており、現状を把握している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様、家族様、それぞれの意見を聞いて介護計画書を作成しております。	利用者・家族の意向を確認しながらケアプランの策定がなされている。職員のケアプランへの意識、詰めたプランの作成を今後の課題として認識している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	常に個別記録に記入し、職員間で情報を共有して、介護計画の見直しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様が自分のすることに自信をもって暮らせる様に、家族様にも共有していただいで、支援しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の活用しております。(ボランティアのキリスト教コーラス隊ボランティアの音楽コーラス隊)		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医師と適切な医療を受けられる様に、支援しております。	協力病院による往診により利用者の健康管理・維持に努めている。医療職も在籍していることから医療機関と家族との間に入りながら連携した支援としていくよう取り組んでいる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職が利用者様の体調管理をしております。職員も利用者様の体調に異変に気づいた時は、看護職に報告しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院との情報交換は出来ております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期の対応に付いては、かかりつけ医師と家族様との話し合が出来ております。医師の判断で緊急対応をする事になります。	入居時には重度化と終末期の支援について定める方針への同意を得ている。特に医療行為を伴う場合、共同生活の継続が難しい場合など契約終了のケースやホームのできる支援への説明に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対策は、職員の報告、連絡が出来る様に、対応しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災や地震など災害対策しており、避難訓練や避難所など防火対策は、職員にて避難所を確認しております。	定期での避難訓練を実施している。昼間・夜間それぞれの想定の下実施しており、消防署などのアドバイスを活かし、地域との協働した防災を今後の目標としている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室でテレビを見て過ごされたり、ベッドに横になって過ごされたり。リビングでテレビを見て過ごされている方もおりますので、本人様の様子を見て声掛けをしております。	委員会による接遇の検討や禁止事項の確認がなされている。現場での都度の指導により適切な支援に導けるよう取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様の希望している事、理解しながら支援しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人様の自由に、行動していただいております、転倒をしないように注意しながら見守りしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	早朝には、顔タオルとヘアブラシで髪を整っておりますが、転倒しないように本人様の好みの衣類を決めております。入浴の時にも本人様に聞きながら職員が一緒に決めております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を職員と一緒に作ったり、食器を洗っていただいたり、食器を拭いてもらったりしております。	食器拭き、配膳など利用者ごとの適性にあわせて家事参加を支援している。また栄養補助食品の提供を通じて低栄養状態からの脱却・確実な水分補給など健康維持に取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	10時にゼリーと飲み物を提供する。 13時にお菓子と飲み物を提供する。 食事の朝、昼、夕の時は、必ずお茶を提供する。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事前に、必ずYouTubeの口腔ケア体操参加して口腔内の動きを良くして、食事後は本人様の力で歯磨きをして、おります。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄自立の利用者様は、本人様で行きますが、排泄の確認は職員がチェックをいたします。	排せつ・入浴支援時にはあわせてスキンチェックを行い、褥瘡の予防等に努めている。なるべく自立した排せつとなるよう・トイレでの排せつとなるよう見守りと支援にあたっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	午前中は、YouTubeを見ながら職員と一緒に体操をする事により、腸の動きを良くする。食事の前に、必ず口腔ケア体操で口腔内の動き良くする。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	利用者様の入浴拒否が会った時には、本人様の事情を聞いて、様子を見ながら対応しております。	利用者・職員のスケジュールをあわせながら清潔の保持にあたっている。拒否をする利用者に対しては家族からの協力を得るなど無理強いをしないよう努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人様の体調を見ながら、居室で休息したり、本人様に、居室で休むことを聞いて休む方もおります。又は本人様で直接居室に戻られ休息される利用者様もおります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬や職員でダブルチェックしており、誤薬が無い様に、確認をしております。服用する前に本人様にも確認をしていただきます。服用した袋も、もう一度職員でダブルチェックをいたします。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	午後には、レクリエーションでトランプやゴム風船バレーで遊んでおります。又は居室で過ごす方もおります。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員と散歩に出掛けたり。家族様と外出して散歩に行く事も有り。家族様が昼食や夕食に外出する事も有ります。	年間で行事を計画しており、室内外のバランスを図りながらイベントが実行されている。また散歩などが難しい利用者も敷地内の植物に水をあげるなどできる範囲で外気に触れられるよう取り組んでいる。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様が、お金を管理する事が、困難になる為、家族様に必要な場合のみ、お願いしております。どうしても、お金が無いと不安になる利用者様に対しては、家族様に相談し少ない小銭をお渡ししております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を持っている利用者様おります。電話も掛けて来た時は、本人様に渡して、家族様と会話をしております。お手紙は、職員が読んで上げたり。読める利用者様は直接お渡しします。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様がリビングでは、YouTubeの動画を流して、歌番組などの動画を流しております。レクリエーションで飾り物を作り、トランプやゴム風船バレーで遊んでおります。	皆で・リビングで過ごすことが多く、テレビを見る・おしゃべりをする・レクリエーションをするなど楽しみを提供している。また食事前には皆で口腔体操をするなど広いスペースを確保したリビングが活用されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにて、利用者様が自由に過ごされる様に、利用者様同士が会話ができるようにしており、YouTubeを活用して演歌や動物の動画を流して、利用者様が歌ったりしております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御自宅で愛用していた私物を、活用しております。ベッドに見守りセンサーが装備しており、転倒事故防止に務めおります。	ベッド・クローゼットが備え付けられているほか自宅からテレビやタンスなど利用者それぞれの私物が持ちこまれている。ネットワークカメラと連動した介護支援システムを導入し、自室での安全に関しても見守られている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様に出来事を調理の手伝い、食器洗い、食器拭き、洗濯物を畳む、居室の床の掃除などの出来事をしております。		

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム幸せふくろう北秋津

目標達成計画

作成日：令和8年2月25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	2	近隣の小学校・保育園と交流に至っていない。交流の実現は利用者の喜びにつなげていきたい。	運営推進会議への招待者を増やし、地域交流の基盤としていく。	・運営推進会議などで地域の方に紹介をしてもらえるよう依頼する。 ・災害時の協力・夏祭りの参加についても自治会を通して進めていく。	12ヶ月
2	10	家族との関係性の維持や支援への理解を深めてもらいたい。	家族同士の交流をし、面会数の増加や意見の言いやすさにつなげていくことを目標とする。	・家族会を開催する。 ・家族が来やすいよう日程や時間を調整する。	12ヶ月
3					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。